

# 日工販ニュースVol.17 No.5



## もくじ

巻頭言「“企業価値”考」	日工販理事 佐山 博	2
話題の技術「新製品MBN-450H のご紹介」	豊和工業(株) 村瀬 浩崇	4
我が社を語る	住友電工ハードメタル(株) 鴻野雄一郎	6
私の読書評「人間尊重の経営」	伊吹産業(株) 横幕 久治	7
リレー随筆 Part 2 「仲間がいる心強さ」	(株)山 善 西山 美雪	8
工作機械と私	日本機械リース販売(株) 岩崎 謙一	9
お知らせ「平成17年度理事・監事選挙結果」第36回通常総会のご案内」		10
SE教育「合格者」		11
統計資料「工作機械業種別受注額」「FA流通動態調査1・2」 「2004年上位2機種の販売と輸出入」「2004年工作機械関連産業の生産高」 「機種別生産額構成」「2004年主要国・地域別輸出入額構成」		11
甘口辛口「顧みまして」	ユアサ商事(株) 西郷 弘幸	18
消息・行事		19
会員会社		20

SE資格者にご回覧下さるようお願いいたします。

## 「企業価値」考



---

日工販理事  
佐山 博  
(常盤産業㈱ 取締役社長)

---

ライブドアによるニッポン放送のM&Aは、連日思いもよらない展開があり、各マスコミも同業者に突如起った騒動を興味本位も含め、微に入り、細に入り報道している。

おかげで「ポイズンピル」とか、「白馬の騎士」とかいう用語を初めて知り、又、「新株予約券」や「貸し株」といった防衛奇策をよくも考え出すものと感心させられる。

しかし、今回の騒動の効果は、底流には株の持ち合いや間接金融頼りの日本型経営システムが崩壊し、市場経済主義での資本の論理による企業の評価が否応なく行われる時代に入っているのだということ、皮肉にもマス・メディアを通して社会全般に知らしめたことだと思う。

市場経済では、株主の指示が企業とその経営者にとって不可欠であり、そのためには「企業価値」を持続的に高める必要がある。「企業価値」とは何か、どうすれば「企業価値」を高めることができるかという論調がにわかになっている。

それによると、「企業価値」には顕在価値・有形価値と潜在価値・無形価値がある。

顕在価値とは端的には株主価値であり、株価が「企業価値」の評価の尺度となる。

株主の存在感が増し、株価に満足すればよし、不満であれば株が売られ、経営責任が問われ、時にはその企業の持つ資産価値に対する株価価値の低さからM&Aによる経営支配権の交代も迫られる。



しかも善意の株主ばかりでなく、短期利益を目的とした投機家も増えており、適正な株価は何か難しい問題となる。

つまるところ、「企業価値」を高めることが企業の最大の防衛策で、継続的な利益をあげるとは無論のこと、ブランド価値とか開発力・営業力といった人的資産、知的財産等を強化すると共に、それらの潜在価値を顕在させる企業IRも重要となる。

ところで、我が身に振り返って当社の「企業価値」は何かを改めて考えてみると、当社は非上場の中堅専門商社であるため、当然、市場での株価の評価は受けることはない。

有形資産価値も、店舗用土地建物と営業上必要な投資持ち株と金融資産があるだけで、さしたる評価額とはならない。

結局、当社の価値を評価して下さる方は顧客・仕入先と法人・個人の株主、そして従業員であり、当社の「企業価値」はまさしく当社の存在価値と同義語になる。

顧客と仕入先に対しては、過去築いて来た信頼の上に、更に、新たな信頼を積上げる努力を重ね、顧客・仕入先に価値を供給する商社としての認知を確保していかなば生き残り出来ない。

株主に対しては、安心して当社株を保有し続けてもらうことが当社の「企業価値」の評価と受けとめ、業績の維持向上は無論のこと、株主とは機会を設け、当社の状況を出来るだけ詳細にアナウンスして理解を得ることがますます重要と考えている。

最後に、従業員に対しては、当社の「企業価値」を構築する仲間として積極的に参加させるため、個人能力を発揮するチャンスを与えて行きたい。当社には人材以外の資源は無い。

綺麗事になるが、顧客・仕入先・株主・従業員のいずれからプーイングを受ければ退場させられるプレッシャーを常に感じながら、当社の「企業価値」向上に努めたいと考えている。

# 分かりやすい話題の技術

## No.78

### 新製品 MBN-450H のご紹介

豊和工業(株) 機械事業部工作機械グループ  
営業管理課 村瀬 浩 崇

製造業の設備投資は3年連続で増加し設備投資意欲が活発化している状況下、工作機械の主要な需要業種である自動車の生産現場では、新設備の投入や、変種変量に伴うライン変更を迅速かつフレキシブルに実施するためマシニングセンタを核にした加工設備を導入しており、そこに配備されているマシニングセンタの中心は加工用途の最も多い#40である。

今回、紹介する“戦略機種”コラムトラバースタイプの横形#40マシニングセンタMBN-450Hは、変種変量生産に柔軟に対処できる機種になっている。変量及び量産加工における分割工程と集約工程の両形態を“1台のマシンで対応可能”をコンセプトとしてこのマシンを開発した。

基本機能として、このマシンは従来機MBN-450Hの機能を向上させ、多目的に利用できるダブルマガジンを持たせたマシンである。従来機を継承し、横幅を狭く、所要床面積を小さくしてあり、加工ラインの組み込みセルや、搬送機能を付加したユニットマシンとして最適な構成となっている。



#### 作業性への対応

#40MCでありながらマシン本体幅は1,300mmと狭く、ラインレイアウトに非常に有利になっている。また、現在、加工において、より高速化が進み短時間で多量の切粉が排出される。これに柔軟に対処するため切粉排出方式は排出性のよい治具直下型を装備し、後方排出、側方排出の2タイプを有している。

#### 高能率加工への対応

このマシンの最大の特徴であるダブルマガジンの採用は、お客様からの提案によって企画されたもので、高効率な加工ラインを構成することを目的としている。

多用途に使用できるダブルマガジンとシングルマガジンを選択して装備でき、使用ツール数は16本から59本まで装着できる。また、工具選択は固定番地方式とし、十分考慮したマガジンへのツール交換方式の採用で効果的な交換作業が可能となっている。

機種として16本マガジン(Max.15本装着)と30本マガジン(Max.29本装着)の2機種があり、これにより、以下の4構成が可能となる。(主軸用の1本は空)

- ・シングルマガジン：15本 + 主軸装着1本 / 29本 + 主軸装着1本
- ・ダブルマガジン：15本 + 29本 + 主軸装着1本 / 29本 + 29本 + 主軸装着1本

また、マガジンからのツール取り出し機構は各々のマガジンで専用のため、待ち時間を発生させず、最短でツール交換が可能となる。



#### 『用途としての特徴』

ワークの段取り替えに対応

- 通常の加工は片側のマガジンを使用し、待機マガジン(反対側マガジン)は寿命に近いツールとの交換や、機種に応じたツールの交換を加工中に行うことができる。
- ワーク機種の変更に際しては、加工用マガジンを切り替え、切り替わった待機マガジン(今まで加工に使用)には次の機種に必要なツールを加工中に準備できる。

長時間の加工に対応

- 最近の傾向である集約工程加工(1チャッキング加工)での多数ツールの使用に対し、2つのマガジンに必要ツールを装着し、自在に切り替え、Max.58本ツールを有効に使用できる。
- 通常は片側のマガジンを使用し、待機マガジンは予備ツール用とする。使用中のマガジンでツール寿命がくると、待機マガジンが作動して新しいツールを主軸に装着し、寿命となったツールは待機用マガジンに収納される。

高性能加工への対応

集約工程加工への対応として治具周辺を広く確保。

Y軸ストロークを400mmから500mmに拡大し、加工エリアを500(X)・500(Y)・500(Z)mmにすることでターンテーブル、チルト治具等の搭載が可能となり、5軸加工も容易にしている。

加工所要時間を短縮し、生産性の向上を目的に運動機能を向上。

早送り速度：60m/min(従来機48m/min)..25%の向上

加速度：1.0G(従来機0.7G)..14%の向上

主軸最高回転数：10,000min<sup>-1</sup>(従来機8,000min<sup>-1</sup>)..20%の向上

[オプション：15,000min<sup>-1</sup>(従来機12,000min<sup>-1</sup>)..20%の向上]

NC装置はFANUC社製の最新機種FANUCS Series-31i-Model Aを採用。

高度な機械の複合化に対応する多軸多系統ナノCNCで、5軸加工機、複合加工機...等、多種の工作機械に柔軟に対応できる。近年多くのお客様がNC制御装置とのイーサネット接続を採用しているが、これはネットワーク機能にも対応可能で、これにより、NCデータ(プログラム、パラメータ)の一元管理が可能となっている。また、このネットワークを利用したモニタリングも可能。

従来機からの継続機能

- ・2面拘束(HSK-A63、KM6350)も装備可能(オプション)
- ・主軸センタースルークーラントが標準装備。

弊社の主要なお客様である自動車メーカー様からのいろいろなご要求に対し、ご意見を十分に反映したMBN450Hは、お客様の多様な要求に対し、最適なライン構成を提示できると確信している。

# 我が社を語る

メーカー賛助会員

## 住友電工ハードメタル株式会社



取締役社長  
鴻野 雄一郎

弊社は2003年4月に、住友電気工業(株) 粉合・ダイヤ事業部 から分社・独立した切削工具専門の新会社です。母体のひとつである粉末冶金部門は、1960年に発足した長い歴史を誇る部門です。その名の由来となる粉末冶金技術により開発された基幹製品の超硬合金「イゲタロイ」は、研究開発から既に78年が経過し切削工具などで広くご愛顧いただいております。

一方ダイヤ製品部門は、cBN切削工具、合成ダイヤモンドの分野で常に業界のパイオニアとして活動してまいりました。このように粉末冶金技術を基盤に、先進技術と新鋭の設備を駆使し、徹底した品質管理の下に生産される製品は、自動車産業をはじめ、機械産業、エレクトロニクス産業、航空宇宙産業など広範な分野でご愛顧をいただいております。

近年切削工具を取り巻く環境やニーズは、ドラマチックに変化しており、弊社としてもその動きにスピーディーに対応し、お客様に満足していただける切削工具専門メーカーを目指しております。

その方向性をより明確なものとするために、弊社は住友の事業精神である「信用を重んじる」ことを根幹に据え、新しい価値創造、永続的な成長を盛り込んだ企業理念、経営方針をまとめました。

企業理念：信用を重んじ、新たな価値の創造により社会の発展に貢献する。

経営方針：お客様に喜ばれる最も優れた製品・技術・サービスの提供

革新的で高度な技術開発による永続的な成長の実現

高い信用の維持と、柔軟かつダイナミックな体質改善

社員が成長し、誇りを持てる、生き生きとした企業風土

このような企業理念、経営方針のもと、約80年にわたり培ってきた材料技術や技術開発力に加え、海外活動の積極的な展開をより一層推し進めるため、国内外の製造・販売17拠点の連携を強化し、販売拠点網の拡充、現地生産等による海外市場でのサービス強化を意欲的に推進しております。

以上のように、弊社は住友電工グループの中核会社のひとつとして、21世紀のIT社会、メカトロニクス社会を迎えて、ダイナミックかつグローバルに活動し、世界のお客様に喜んでいただける最も優れた製品、技術、サービスをご提供することにより、社会発展に貢献していきたいと考えております。よろしくご愛顧致します。

本社：〒664-0016

兵庫県伊丹市昆陽北1-1-1

TEL. 072-772-4531

FAX. 072-772-4595

東京営業部 TEL.03-3423-5611 FAX.03-3423-5610

名古屋営業部 TEL.052-963-2841 FAX.052-963-2765

TEL.0566-74-7091 FAX.0566-74-7190

大阪営業部 TEL.06-6533-3185 FAX.06-6533-3797



## “人間尊重の経営”

赤石 義博 著（鉱脈社）

伊吹産業(株) 営業一部課長

横 幕 久 治

日本経済において、生産で60%、流通で80%の役割を中小企業が担い、就業人口の80%近くが中小企業で働いていると言われています。私も中小企業で働き、私どものお客様もほとんどが中小企業です。近年、大企業の海外シフトによる空洞化で中小製造業はどんどん廃業しております。しかし、実際に先が読めない未来は、中小製造業にとって悲観すべき時代なのでしょうか？著者の赤石氏は中小企業家同友会全国協議会の会長をされており、「人間尊重の経営」を実践し、先駆的企業を造ってこられました。本書では、真の人間尊重経営を確立すれば、激動を切り開く先駆的企業になれると書かれております。

著者は人間尊重の経営をするために、下記条件をあげています。

1. 社長が企業の社会性( 事業そのものが社会的有用性を持つ 地域社会に貢献している 生涯教育の場である )を自覚し、明確な経営理念を持っている。
2. 科学的根拠を持つ経営戦略を打ち立て、人間尊重に裏付けされた人づくり( 相手の立場に立てる人 相手の喜びを自らの喜びとする人 自ら学び考える人 積極的な人 )を進めている。
3. 命を大切にす経営...「生命の尊厳性の尊重」= 人間尊重の第一の側面  
一つの命を大切にし、一つの命を守ることが全ての基本。一人の命を大切にすることが人類の命を永遠にする基本です。命を大切にす心は、「他人の心の痛みを感ずる心」につながり、「他人を思いやる心」につながっていきます。そして、自己中心的な身勝手とは何であるかを自覚させ、公正なあり方とは何かを自ら考える姿勢を育みます。
4. かけがえのない人生を大事にする経営...「個人の尊厳性の尊重」= 人間尊重の第二の側面  
「かけがえのない人生」とは何かを自然なやり取りの中で問いかけ、学び合い、実現に向けて励ましあう場を作り、そうしたことを大切なものとして尊重し合う社風作りをしている。
5. あてにしあてにされる関係の確立...「人間の社会性への尊重」= 人間尊重の第三の側面  
「望ましい会社とは？」「当たり前のことを当たり前のできる会社？」「継続して収益を上げられる会社？」「顧客からあてにされる会社？」「あてにされる社員が存在する会社？」「親身な対応と完結まで責任を持つ人間のいる会社」
6. 積極的・攻勢的経営の構築...景気の一般動向に関心を払うだけでなく、業種の将来、取り扱う商品・サービスに求められる価値や求められ方の変化を重視し戦略をたてる。
7. 「社長が変われば企業も変わる」...謙虚な学び合いが自己革新を深めます。「共に育つ」ためには「共に学ぶ」ことが前提であり、共に学ぶ気風の確立は先ず社長の姿勢にあります。

社員を単に労働力と考えず、最も信頼できるパートナーとして位置づけ、人間として共に学び合い共に育つことによって企業は発展し、そこに働く人も社会的存在価値を高めていこうとします。人間尊重の経営こそ中小企業のすすむべき道です。皆さまのお客様で悩んでいる経営者がおられましたらぜひ本書を薦めて下さい。きっと経営者、会社は変わっていかれると思います。(問合せ先：中小企業家同友会全国協議会 <http://www.doyu.jp>)



# リレー随筆



## Part 2

### 「仲間がいる心強さ」



栂山 善  
機械部  
西山 美雪

あなたの誇れることは何ですか？と、聞かれたとしたら、私は迷わずまわりの人に恵まれていることと言うでしょう。

私は不器用で、何をやるにしろ人より時間がかかることが多いです。ですから、毎回皆さんが印象深いことを書いておられるこのリレー随筆を書くにあたって、見栄やプレッシャーも加わり、締め切り直前まで何を書けば良いか本当に迷ってしまいました。

そんな私ですが、前に言いましたように今までまわりの人には恵まれて育ってきたと思っています。

私は学生時代の10年間陸上競技をしてきました。大学で私が所属した走り幅跳びのパートはスポーツ推薦で入学した人がいて特にレベルが高く、私以外全員インターハイ経験者でしたので、高校時代までチームでは上位にランクされていた状況が一変して下位に下がりました。公式戦には人数枠があり、私はそこに入ることがなかなか出来ず悔しい思いをしました。そのため時には、この人達には勝てなくても仕方ないと諦めそうになったこともありました。それでも大学生になっても続けるくらい陸上競技が好きだったので、必死でついていきました。私が走り幅跳び以外の種目を先輩から勧められた時、同じ種目の仲間からは、そんなこと言われなくらい跳べるように一緒に頑張ろうと励ましてくれ、暑くて倒れそうな時や、練習が過酷で体がもう動かない時もなんとか頑張っただけでした。それでも直ぐには同種目の順位は変わりませんでした。

そうして迎えた4回生の春、もう一度自分を見つめなおし、春のメインの公式戦への出場をめざし、自己記録を更新することを目標としました。目標を明白に設定した私はやれるかぎりのトレーニングをして自信もついていました。そして迎えた選考会では5人中3人が選ばれる中、先に2枠は決まっており、残る1枠の選考でした。私はそこで最善を尽くした結果、自己記録を更新して公式戦に出られるようになりました。公式戦ではさらに自己記録を伸ばすことができ自分なりに満足いく結果でした。そして試合の後、公式戦に出られなかった仲間が、私に託して良かったと言ってくれた事が何よりも嬉しかったです。長い間記録が出せず芽が出なかったけれど、自分の能力の限界を決めずに粘り強く頑張ったのがよかったと思います。

仕事においても何事も粘り強く責任を持って行うことを心がけて行こうと思っています。今思うと不器用で失敗も多かったことで、逆に人の痛みがわかるようになりましたし、人の優しさやありがたみを実感できる機会が多かったと思います。

そして一番の財産は、多くの仲間が出来たことです。相手の頑張りを見るとそれが自分のパワーを引き出してくれます。それは、それぞれのフィールドが変わっても同じで、仲間が仕事を頑張っていると

# 工作機械と私



日本機械リース販売(株)  
営業推進グループ  
工作機械商事チーム リーダー  
岩崎 謙一

私が当社に入社する以前は、ある中古商社に勤務し、そこで初めて工作機械に出会い、工作機械の「いろは」を学びました。学んだと言っても、新入社員で入社後、即実践形式の中古商社で、第一にお客様と話すことから始まり、注文が取れたら自分で注文された機械について調べる。それでも判らなければお客様に聞く。先輩達の知識を拝借するのは一番最後で、当時私が担当したお客様には、大変ご迷惑をお掛けしたという記憶が残っています。

当時の自分を思い浮かべてみると、今でも赤面する場面が多々ありますが、その羞恥が今、活かされているという実感をもって、仕事に打ち込んでいます。

現在の会社へ転職後親会社であった大手リース会社が、半年で倒産。その2年後に、住信リースの子会社として、産業工作機械をメインとするリース会社に生まれ変わりました。現在の私の仕事は、リース満了機械の再販と、中古機械の仕入、更に仕入機械をリース・レンタル・割賦という方法の中からお客様へ受け入れやすく加工する、中古機械専門スタッフとしての役割です。また新品の工作機械についても、各リース案件の将来査定を実行し、与信判断とのバランスチェックも行うといった重要な役割も担っています。当社は専門性の高いリース会社ゆえに、必要があれば営業担当者と一緒にお客様の工場へ出向き、加工物の材質や加工工程、設備機械の手入れ等々を実地調査しておりますので、手間が掛かる分大変ですが、成約時の喜びはひとしおで、営業担当者と共に喜びを分かち合える立場にいます。

また工作機械と云えば、先日、台湾の工作機械見本市を見学する機会があり、台湾メーカーの工場見学にも参加いたしました。九州程度の広さの台湾で、こんなに多くの工作機械メーカーがあるのかと驚きました。製品もNC旋盤・マシニングセンターは勿論、大型五面加工機まで展示してあり、今まで日本市場で日本メーカーにしか視線を置いていませんでしたが、これからは日本へ進出するであろう海外メーカーや、海外ユーザーへも視野を広めて対応することが必要になっていることを痛感しました。リース会社が考えることではないと思う方もおられるでしょうが、これからはリース会社も色々考えなければ生き残れない世の中になるものと私は考えます。

これからも私にとっては工作機械とリースは、長い付き合いになると感じています。

聞くとそれだけで私も負けずに頑張ろうと思います。

また、今の職場にもこんな私を暖かく見守り、元気やパワーを与えてくださる上司、同僚がおられます。私には思いも付かない考えで刺激を与えてくれ、私の能力をもっと引き出せるように何気なく指導して下さったり、今まで目を向けていなかった所に目を向けさせて下さったりして、優しさや居心地の良さを与えてくださいます。そのような上司、同僚の期待に応え、みなさんに私のパワーをお返しできるように少しずつでも前進していきたいと思っています。

同じ業界におられる方々とは何かの縁があると思います。これからお仕事でかかわりあう方もおられると思いますが、その時はどうぞよろしくお願い致します。

## 第36回 通常総会のご案内

当協会では下記により第36回通常総会を開催致しますのでご案内申し上げます。  
ご予約願います。

期 日 / 平成17年6月8日(水) 会 場 / 八重洲富士屋ホテル  
総 会 / 13:00~14:00 記念講演 / 14:20~16:00

講師: 高任 和夫(たかとう かずお)氏  
作家、代表作「商社審査部25時」「架空取引」  
「日経マスターズ」に「マスターズ列伝」掲載中  
演題: 「現代偉人伝」

懇親パーティー / 16:20~18:00

## 平成17年度 理事・監事選挙結果

平成17年度の役員選挙は去る4月7日(木)、日工販事務局で選挙管理委員3名の立ち会いの下開票され、集計の結果、下記の会員会社が選出され、6月の総会以後2年間協会運営の職務を担っていただくことになりました。

立会人 選挙管理委員長: 羽賀昭雄、 委員: 三橋 誠、尾瀬俊憲

理事会社(五十音順)

東部地区12社:

伊藤忠メカトロニクス(株)、(株)エムエムケー、(株)兼松K G K、  
住友商事マシネックス(株)、東京金子機械(株)、(株)トーマンテクノソリューションズ、  
常盤産業(株)、トッキ・インダストリーズ(株)、(株)トミタ、三菱商事テクノス(株)、  
ユアサ商事(株)、米沢工機(株)

中部地区7社:

(株)井高、三栄商事(株)、サンコー商事(株)、三立興産(株)、(株)東陽、(株)不二、山下機械(株)

西部地区5社:

赤澤機械(株)、伊吹産業(株)、植田機械(株)、宮脇機械プラント(株)、(株)山善

監事 東部地区:(株)テヅカ、中部地区:下野機械(株)、西部地区:桜井機械(株)

なお、同時投票により専務理事には前任の荘司博章氏が信任されました。投票数は下記の通りでした。

内訳	正会員(投票総数70)	64票	投票率	91.43%	有効64・無効0
	東 部(投票総数35)	30票	投票率	85.71%	有効30・無効0
	中 部(投票総数21)	21票	投票率	100.00%	有効21・無効0
	西 部(投票総数14)	13票	投票率	92.86%	有効13・無効0

# 統 計 資 料

## 工作機械業種別受注額(2005年3月)

4月19日発表

(単位:百万円、%)

需要業種	期 間	2004年 累 計	前年比	2004年 10~12月 累 計	2005年 1~3月 累 計	前期比	前 年 同期比	2005年 1~3月累計	前 年 同期比	3 月 分	前 月 比	前 年 同 月 比
1. 鉄鋼・非鉄金属		8,613	155.0	2,257	2,418	107.1	124.8	2,418	124.8	681	90.2	84.9
2. 金属製品		22,067	145.1	5,319	6,405	120.4	122.5	6,405	122.5	2,352	101.3	123.7
機械製造業	3. 一般機械 (内金型)	264,502	164.8	68,446	72,831	106.4	126.4	72,831	126.4	25,793	104.8	120.3
		65,645	161.2	16,435	18,253	111.1	129.4	18,253	129.4	6,831	113.9	128.2
	4. 電気機械	50,902	167.0	11,825	10,609	89.7	97.2	10,609	97.2	4,016	100.1	110.8
	5. 自動車 (内自動車部品)	225,632	141.9	71,429	72,695	101.8	161.0	72,695	161.0	26,715	120.8	153.0
		101,945	132.4	31,391	28,915	92.1	141.9	28,915	141.9	11,851	138.4	154.7
	6. 造船・輸送用機械	17,328	143.5	4,668	5,115	109.6	183.3	5,115	183.3	1,587	102.4	120.4
	7. 精密機械 3~7.小計	32,990	136.5	7,559	8,240	109.0	97.9	8,240	97.9	3,415	164.3	114.9
	591,354	153.1	163,927	169,490	103.4	135.7	169,490	135.7	61,526	113.1	131.4	
8. その他製造業	37,643	153.6	9,163	7,369	80.4	77.7	7,369	77.7	2,363	94.9	56.9	
9. 官公需・学校	1,842	98.3	565	440	77.9	64.2	440	64.2	161	119.3	62.4	
10. その他需要部門	2,971	180.7	617	1,199	194.3	124.6	1,199	124.6	680	232.1	146.6	
11. 商社・代理店	8,349	127.2	1,934	2,636	136.3	126.2	2,636	126.2	1,086	136.3	124.5	
1~11. 内需合計	672,839	152.4	183,782	189,957	103.4	130.8	189,957	130.8	68,849	112.6	124.6	
12. 外 需	563,353	137.6	153,966	143,034	92.9	116.0	143,034	116.0	50,084	109.9	108.2	
1~12. 受注累計	1,236,192	145.2	337,748	332,991	98.6	124.0	332,991	124.0	118,933	111.4	117.1	
(内NC機)	1,176,257	145.7	324,195	317,902	98.1	125.8	317,902	125.8	113,500	111.2	118.5	
販 売 額	966,503	127.1	261,016	313,715	120.2	135.6	313,715	135.6	139,620	157.3	135.7	
(内NC機)	916,688	126.8	250,130	300,769	120.2	138.1	300,769	138.1	134,783	159.9	139.5	
受注残高	576,517	159.6	576,517	585,588	101.6	160.7	585,588	160.7	585,588	96.7	160.7	
(内NC機)	536,135	163.5	536,135	542,536	101.2	164.7	542,536	164.7	542,536	96.3	164.7	

出所(社)日本工作機械工業会



## 日工販SE合格者 第122回発表

今回は4月の合格者7名です。

認定No.	会社名	合格者名	認定No.	会社名	合格者名
05-13-1650	(株)兼松 K G K	篠谷 城	05-14-1654	住商リース(株)	遠藤敦彦
05-14-1651	植田機械(株)	山口貴充	05-14-1655	UFJセントラルリース(株)	浅見治孝
05-14-1652	(株)ジーネット	乙部康一	05-14-1656	(株)森 野	山口善史
05-14-1653	丸ダシステムエンジニアリング(株)	橋本 進			

## 工作機械・FA流通動態調査 1

統計1

単位百万円

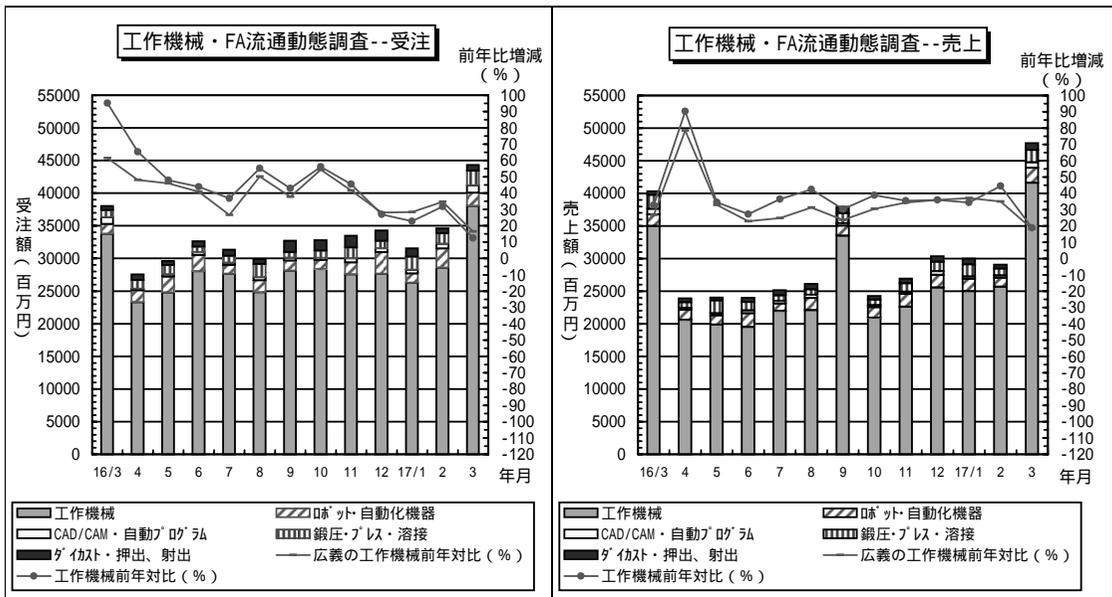
34社合計 調査月次	受 注					売 上				
	17/3	前月比	前年比	16/4-17/3	前年比	17/3	前月比	前年比	16/4-17/3	前年比
広義の 工作機械										
工作機械	38,024	33.1%	12.5%	333,141	37.7%	41,600	61.9%	18.9%	299,003	35.8%
ロボット・自動化機器	2,016	-31.8%	37.9%	24,264	37.9%	2,326	72.4%	29.4%	20,683	30.7%
CAD/CAM・自動プログラム	1,133	58.6%	8.4%	6,244	-12.7%	827	118.7%	-1.1%	5,070	-18.2%
鍛圧・プレス・溶接	2,269	41.9%	109.2%	17,357	14.2%	1,916	85.7%	-10.8%	15,725	-2.6%
ダイカスト・押出、射出	881	11.1%	36.0%	13,839	62.5%	1,020	68.3%	77.7%	9,015	11.1%
小計	44,323	28.0%	16.6%	394,845	36.0%	47,688	64.1%	18.2%	349,497	31.2%
工作機械以外の扱い商品	17,551	38.1%	28.8%	142,605	18.4%	15,308	40.8%	-8.6%	125,751	3.2%
合計	61,975	30.9%	20.0%	539,631	30.3%	63,295	58.5%	10.9%	476,339	21.8%
従業員数	1,214	0.6%	1.1%							

統計2

単位百万円

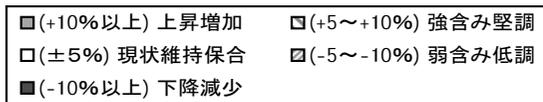
32社合計 調査月次	受 注					売 上				
	17/3	前月比	前年比	16/4-17/3	前年比	17/3	前月比	前年比	16/4-17/3	前年比
直販 (内リース)	36,169	55.0%	35.9%	267,717	22.2%	31,818	69.1%	16.2%	240,745	24.3%
卸	2,079	41.5%	-0.3%	21,439	25.5%	2,370	42.4%	-6.4%	20,697	23.2%
卸 輸入	10,166	19.7%	22.1%	107,791	42.5%	11,719	58.1%	-1.5%	99,898	37.8%
輸出 (内トランスプラント)	396	473.9%	-6.8%	4,602	92.1%	530	29.6%	106.2%	2,779	-13.9%
輸出	3,918	-14.1%	-25.8%	47,993	34.4%	5,548	18.3%	62.9%	39,602	22.6%
従業員数	965	0.7%	0.7%							

注：本調査は会員71社中統計1に関しては35社、統計2に関しては33社の回答を得て集計したものである。  
折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比である。  
参考までに今月のデータ提供会社総数は41社である。

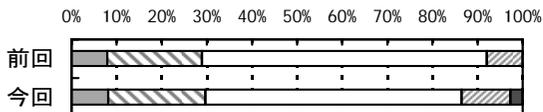


## 工作機械・F A流通動態調査 2

### 1. 工作機械全体見通し

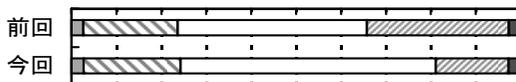


現状に比し直近(1~3か月)は



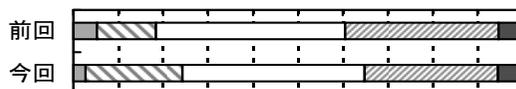
過去半年に比し向後の半年は

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

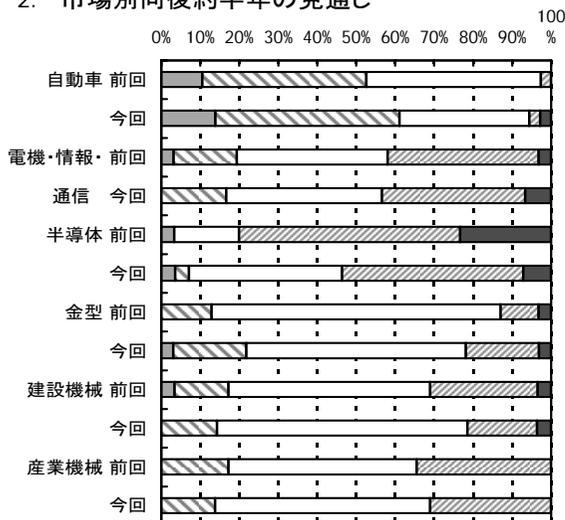


過去1年に比し向後の1年は

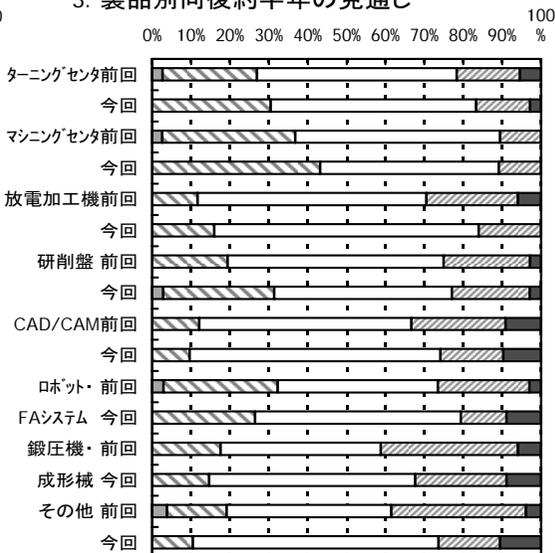
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 2. 市場別向後約半年の見通し



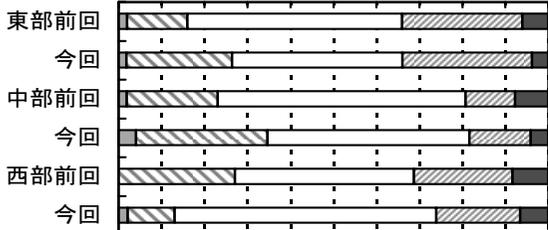
### 3. 製品別向後約半年の見通し



### 4. 地域別向後約半年の見通し

国内:

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



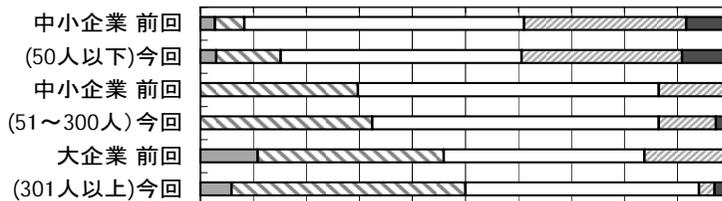
海外:

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 5. ユーザ規模別向後約半年の見通し

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



注: 調査データは日工販ホームページをごらんください。

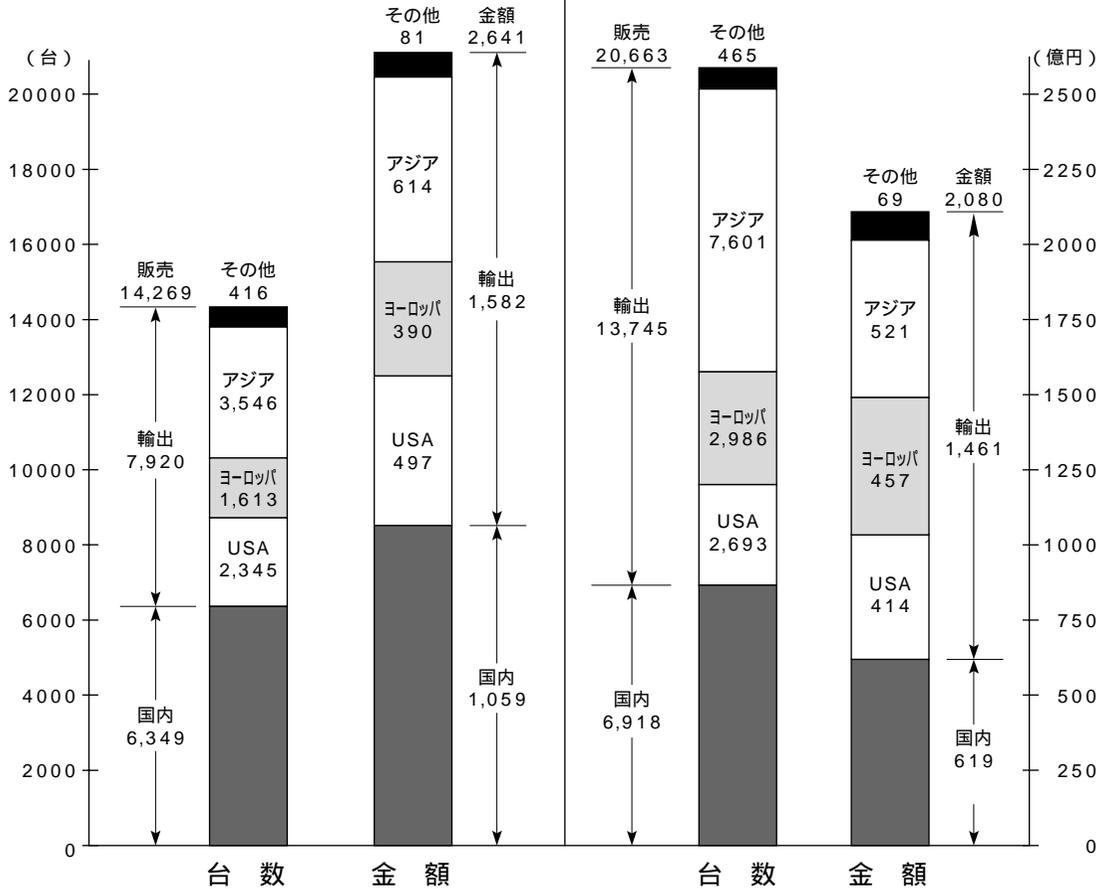
## 2004年 上位2機種の販売と輸出入

### マシニングセンタ

輸出	7,920台	1,582億円
	(+8.6%)	(+11.6%)
輸入	297台	24億円
	(+49.2%)	(+33.3%)

### NC旋盤

輸出	13,745台	1,461億円
	(+18.7%)	(+19.5%)
輸入	927台	48億円
	(-1.2%)	(+200.0%)



(出所) 販売：経済産業省生産動態統計調査

輸出入：財務省通関統計

注：国内は、上記「販売」より「輸出」を差し引いた数値を用いている。

コメント：上位2機種の販売と輸出入(2004年)

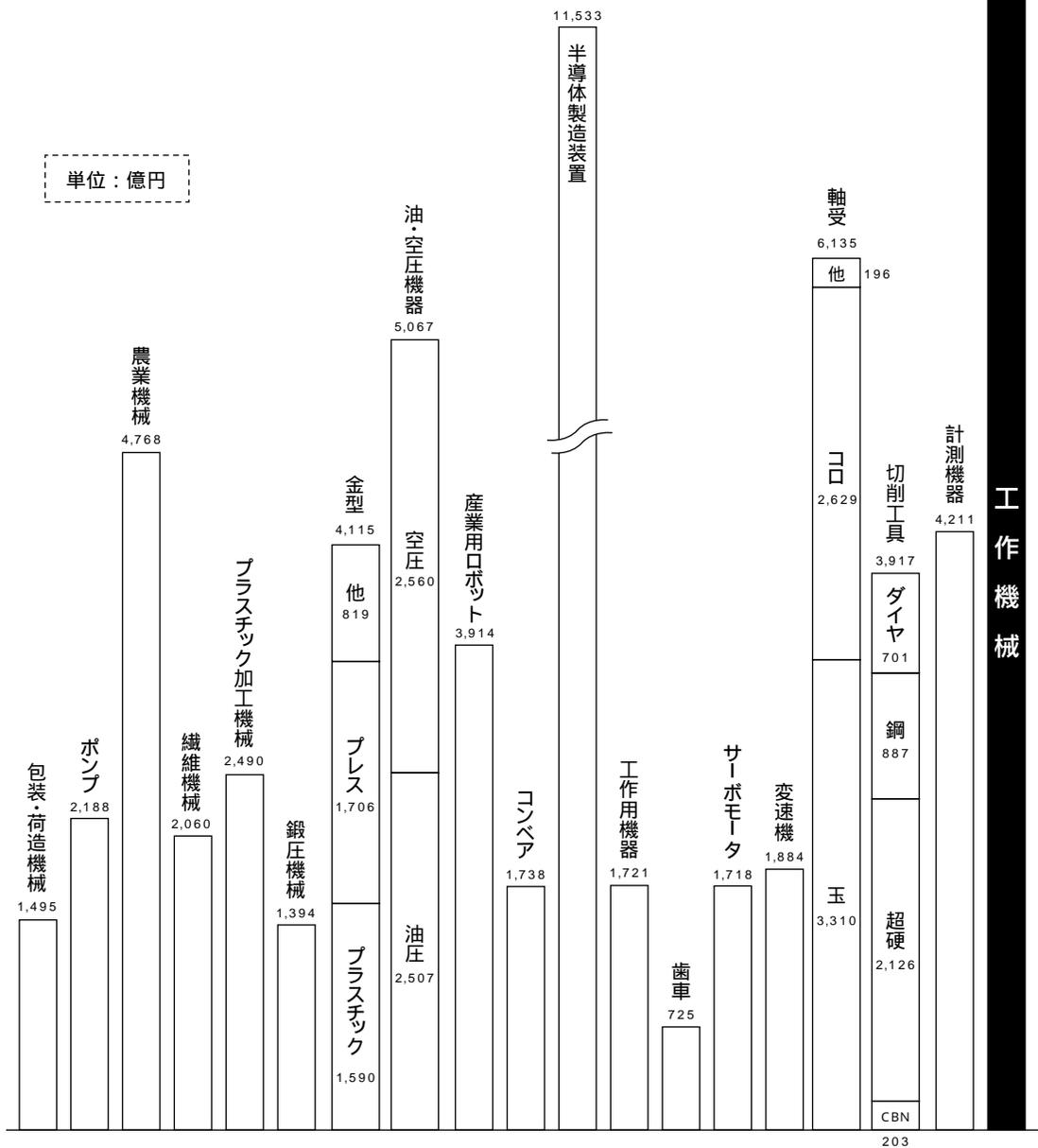
前年度に引き続き世界的な好況を反映して2機種とも売上、輸出は大幅な増加となった。

昨年より中国等、アジアの躍進は目覚ましいものがある。2006年も好景気とのこと。

このまま押し上げて行くとは有難い。

# 2004年 工作機械関連産業の生産高

8,699



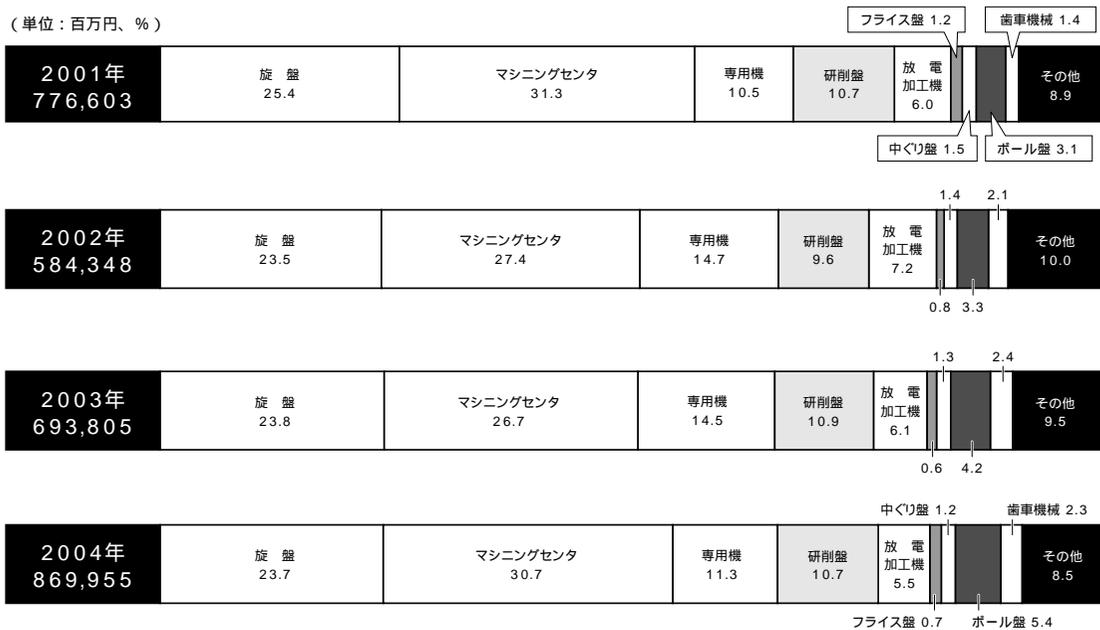
(出所) 工作用機器：日本工作機器工業会  
 その他：経済産業省生産動態統計調査

コメント：工作機械関連産業の生産高(2004年)

グローバル的な景気上昇といわれているが、2004年は国内の投資が増加してきた。これが何よりも心強い。その上に輸出増が重なり各業界はかなりの生産増となったようだ。2005年もこの状態で推移していくと非常に有難い。

## 機種別生産額構成

(単位：百万円、%)



## コメント：機種別生産額構成(2004年)

前年比では前年に続いて25.4%の大幅増。現在の生産額は上限いっぱいと思われる。

各機種ごとにみるとマシニングセンタが台数、金額ともずば抜けた増加率であった。ただ専用機は多少の落ち込みとなったが、数年平均でみると伸びている。

輸出の貢献度も大きい国内向けが伸びているのが心強い。

## コメント：主要国・地域別輸出額構成(2004年)

昨年に引き続き増加している。前年比は21.1%と堅調である。アジア向け、特に台湾、中国向けの伸びが大きい。2004年の輸出シェアはアジアが大幅な伸びで50%を超え60%に迫る勢いである。

アメリカ、欧州向けも金額は増加して堅調な推移を見せているが、それ以上にアジア向けの伸びが大きい。世界の位置付けとしてのこれからのアジアの成長は楽しみである。

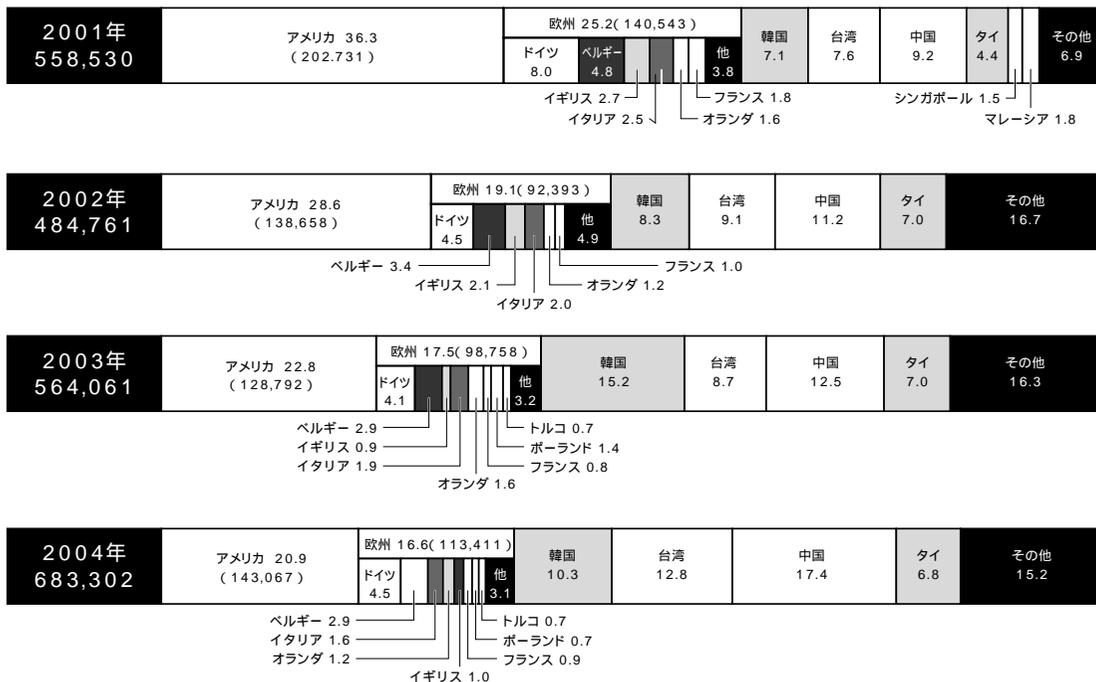
## コメント：主要国・地域別輸入額構成(2004年)

昨年に引き続いて世界の景気は上昇。特に国内向けの投資は旺盛で前年比66.0%増となった。

中小企業もかなりの設備投資を始めたようだ。持続した内需が増えていくと有難い。

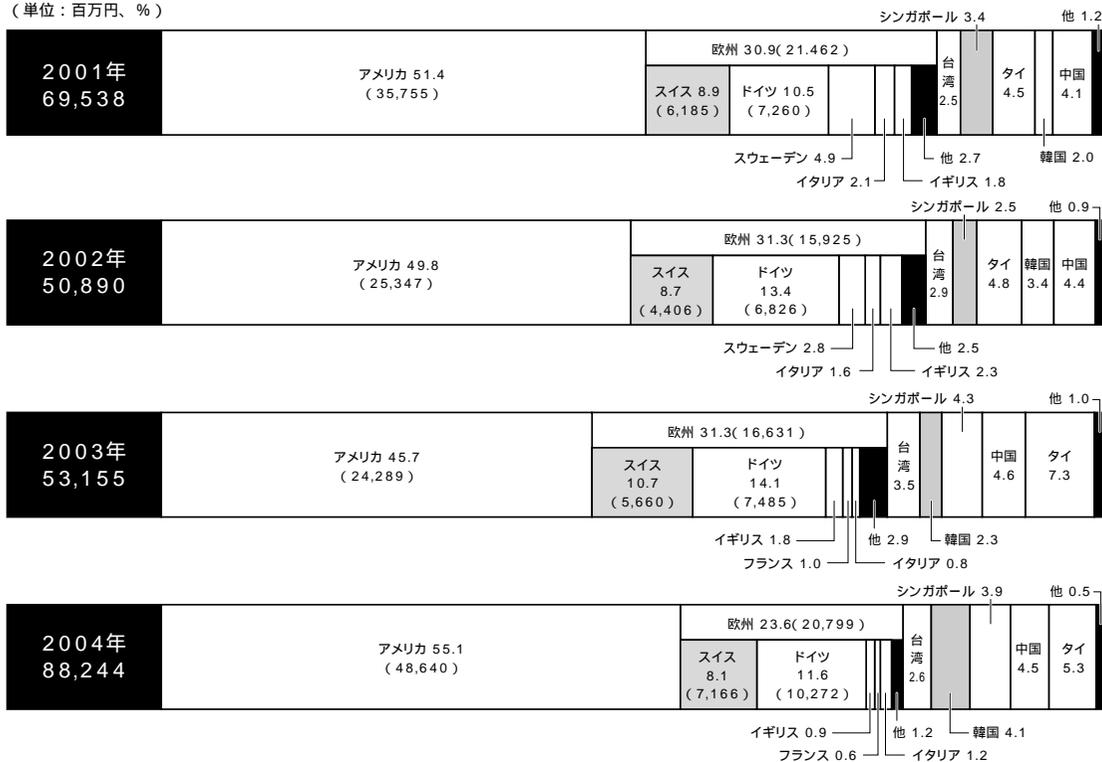
## 2004年 主要国・地域別輸出額構成

(単位：百万円、%)



## 2004年 主要国・地域別輸入額構成

(単位：百万円、%)



## 「顧みまして」



ユアサ商事(株)  
機械エンジニアリング本部次長  
西郷 弘幸

今回日工販より寄稿を依頼されましたが、私は昔から作文が苦手で、小学校の時など、夏休みの宿題での作文は、学校が始まる前日になって、苦勞してやっと書き上げたものです。大阪生まれで、大阪育ちの為、お話しをするのはあまり苦にならず、よく言われる大阪人の「ボケとツッコミ」も自然と出てくるのですが。さて、何を書こうかと思案いたしました。人に自慢出来る様な趣味も無く、よく考えて見ますと、この業界に従事して早30数年が過ぎました。丁度、時節柄、新入社員が入って来た時なので、当時の若かりし頃のエピソードなどを思い出しながら書かせて頂こうかと思えます。

私の入社は昭和46年で、入社から機械部門への配属となり、以来この業界にずっとお世話になって来ました。当時はまだ、NC機というものがぼつぼつ登場して来た時代で、我々が販売させて頂いたのはほとんどが汎用機であったと思います。今のように、工作機械の販売ではリースと言うものが無く、その殆どは、割賦、分割販売でありました。ご存知の様に、まだ、電卓も無く「そろばん」をもって営業に回っておりました。ある時、先輩から計算尺を戴き、これで「金利計算を下さい」と言われたのですが、悲しいかな文科系を卒業した私にはまったく計算尺の使い方が分らず、たまたま、私の弟が工業高校を出ていたので、使い方を教わったものです。使ってみますと大変便利なもので、即座に金利計算が出来(アバウトですが)スピーディーに商談を進める事が出来ました。もっとも、その当時は、お客様も金利については、あまり気に留めていなかった様な気がします。(当時の公定歩合や銀行金利が如何ほどであったか、あまり気にせずに計算した様に思います。)

今、思えば当時は金利でも儲かったのかと思えます。

ある時、当社の古くからのユーザー様を担当させて頂いていたのですが、競争も有り、なかなか機械を買って貰えなかったのですが、色々な商品をPRし何度も訪問する内に「少し他より高いがこれからのお付き合いも有り、君から購入しよう」と言ってくれた時は、本当に嬉しかった記憶があります。また、主力のメーカー製品の販売でも、諸先輩がたくさん販売しているのに、なかなか売れずに、上司に「どうしたら売れるのですか」と相談した事が有りました。自分でその機械を売ると決めたら、その機械を「好きになりなさい。」そのお客様に売りこみたいなら「その会社の人も好きになりなさい。」と言われたものです。工作機械業界も飛躍的に進歩し、今ではNC機が主流であり、コンピューター中心の時代になって来ましたが、商売の原点は、何時の時代でも人と人との信頼関係であり、昨今では、顧客満足度と言われますが、全くその通りであると思えます。

当時の日工会の年間受注が、如何ほどで有ったか記憶に有りませんが、昨年は、1兆円を超える規模に回復し、しばらくは続くであろうと予想されていますが、尚一層の発展を期待してペンを置きたいと思えます。

## 会員・業界消息

窓口変更 ..... 中部地区正会員 浜松貿易(株) 総務部 三富伸一  
賛助会員リース 首都圏リース(株) 機械設備営業部部长 近藤幸男  
本社住所表示変更 ... 東部地区正会員 常盤産業(株) 〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-17 松永ビル5階

## 行事予定

調査広報委員会	5月16日(月)	機械工具会館
西部地区懇親ゴルフ会	5月19日(木)	西宮高原ゴルフ倶楽部
教育委員会	5月24日(火)	機械工具会館
第36回通常総会	6月8日(水)	八重洲富士屋ホテル
第1回S E基礎講座	6月30日(木)~7月2日(土)	日本工業大学
第2回S E基礎講座	7月7日(木)~7月9日(土)	日本工業大学
展示会		
MEX金沢2005	5月19日(木)~21日(土)	石川県産業展示館
微細精密加工技術展2005	5月25日(水)~28日(土)	インテックス大阪
2005自動車部品生産システム展	6月15日(水)~18日(土)	東京ビックサイト
第16回設計・製造ソリューション展	6月22日(水)~24日(金)	東京ビックサイト
EMO Hannover 2005	9月14日(水)~21日(水)	ドイツハノーバー
第10回メカトロテックジャパン	10月19日(水)~22日(土)	ポートメッセ名古屋

## 編集後記

歴史的な問題と国連安保理事会常任理事国入り問題を契機に中国での反日デモが各地に広がりました。政治的意図を持った歴史教育を受けた若い世代が中心となった行動とも見られますが、戦後60年間、日本が積み重ねてきた平和外交、経済協力の実態が彼等に理解されていない現実を直視する必要があります。内政への影響を考慮し頑なに日本側への謝罪を固辞する中国政府ですが、それにしても、いまやアジアの経済大国となった中国が大人の対応をすることを望むのは無理なのでしょうか。

在任5年目を迎えた小泉首相は、四分社化などを盛り込んだ郵政民営化法案を閣議決定し国会に提出しました。今国会での成立を目指していますが、自民党内の民営化反対陣営の結集もあり、予断が許されない状況です。政府、自民党間の調整にてこずり、おかげで国民生活に影響が深い年金改革議論が片隅に置かれているのが気懸かりです。JR福知山線での脱線事故では犠牲者が100人を超え、負傷者も400人以上となるという大惨事となりました。朝元氣に見送った家族にとっては信じられない悪夢であり、痛ましい限りです。犠牲者のご冥福をお祈り申し上げますとともに、お見舞い申し上げます。

日工会受注は3月も好調で、総額1,189億円と前年比17.1%増で、ついに30ヵ月連続前年比増となりました。この結果16年度の受注総額は1兆3,006億円となり、史上第3位を記録しました。内需、外需ともに30ヵ月連続前年比増で、特に内需は前年度比49.2%増の7,175億円に達しました。年度替わりの4月以降、どこまで前年比増が続くのか期待を持って見守っていきましょう。

巻頭言で常盤産業(株)の佐山社長が言及されています、このところマスコミが追い続けたライブドアのニッポン放送買収とフジTV業務提携問題は、結局フジTVがライブドア側所有の日本放送全株を買取り、ニッポン放送の子会社化を達成し、更にフジがライブドアへ出資してTVとITとの融合につきライブドアとの業務提携を煮詰めることになりました。ものづくりに励む実業の世界とはかけ離れた世界の動きですが、何はともあれ、公開企業が敵対的買収の危険にさらされている現実を知らしめことでは、意義のある騒ぎであったといえます。

桜前線は5月の連休には北海道に移っていますが、開花の遅れた今年の桜は、東京では満開後の雨に打たれ、あっという間に葉桜となりました。近くの神社の境内の桜並木で着物姿の女性たちが葉桜をめでながら優雅に膳を広げていました。平和な日本の証を垣間見たような気がしました。

「日工販ニュース」 Vol.17 - No.5

平成17年5月15日発行

発行 日本工作機械販売協会  
〒108-0014 東京都港区芝5-14-15 機械工具会館3階  
電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879  
発行責任者 専務理事 莊司 博章  
編集 日工販調査広報委員会  
委員長 田尻 哲男

# 日本工作機械販売協会 会員会社一覧 (50音順)

平成17年5月1日現在

## 正会員(全72社)

### [ 東部地区(35社) ]

(株) 旭 商 工 社  
 伊藤忠メカトロニクス(株)  
 今井機械工業(株)  
 (株) エム エム ケー  
 大石機械(株)  
 (株) カ ナ デ ン  
 (株) 兼 松 K G K  
 (株) 京 二  
 (株) 共 和 工 機  
 群馬工機(株)  
 (株) 国 興 會  
 (株) 三 機 商 會  
 三洋マシン(株)  
 サンワ産業(株)  
 シマモト技研(株)  
 住友商事マシネックス(株)  
 (株) セイロジャパン  
 誠和エンジニアリング(株)  
 太平興業(株)  
 (株) 高 橋 機 械  
 帝通エンジニアリング(株)  
 (株) テ ヅ カ  
 東京金子機械(株)  
 (株) トーメントソリューションズ  
 常盤産業(株)  
 トッキ・インダストリーズ(株)  
 独協機械(株)  
 (株) ト ミ タ  
 (株) N a I T O  
 日鋼商事(株)  
 藤田総合機器(株)  
 松茂工販(株)  
 三菱商事テクノス(株)  
 ユアサ商事(株)  
 米沢工機(株)

### [ 中部地区(21社) ]

石原商事(株)  
 (株) 井 高  
 岡谷機販(株)  
 カト一機械(株)  
 釜屋(株)  
 岐阜機械商事(株)  
 甲信商事(株)  
 三栄商事(株)  
 三機商事(株)  
 サンコー商事(株)  
 三立興産(株)  
 下野機械(株)

(株) 大 成  
 (株) 大 誠  
 (株) 東 陽  
 豊田通商(株)  
 (株) 日 本 精 機 商 會  
 浜松貿易(株)  
 (株) 不 二  
 山下機械(株)  
 ワシノ商事(株)

### [ 西部地区(16社) ]

赤澤機械(株)  
 伊吹産業(株)  
 植田機械(株)  
 (株) お じ ま  
 関西機械(株)  
 京華産業(株)  
 五誠機械産業(株)  
 桜井機械(株)  
 (株) ジ ー ネ ッ ト  
 大幸産業(株)  
 立花エレテック  
 西川産業(株)  
 日本産商(株)  
 マルカキカイ(株)  
 宮脇機械プラント(株)  
 (株) 山 善

## 賛助会員(全71社)

### [ 製造業(53社) ]

(株) エ グ ロ  
 S M C (株)  
 エヌティーツール(株)  
 エンシュウ(株)  
 オーエスジー(株)  
 オークマ(株)  
 大隈豊和機械(株)  
 大阪機工(株)  
 (株) 岡本工作機械製作所  
 (株) 神崎高級工機製作所  
 (株) 北川鉄工所  
 キタムラ機械(株)  
 キャムタス(株)  
 京セラ(株)  
 (株) グラフィックプロダクツ  
 黒田精工(株)  
 (株) シギヤ精機製作所  
 新日本工機(株)  
 住友電工ハードメタル(株)  
 (株) ソ デ ィ ッ ク  
 大昭和精機(株)

高松機械工業(株)  
 (株) ツ ガ ミ  
 津田駒工業(株)  
 (株) テクノワシノ  
 (株) 東 京 精 密  
 東芝機械マシナリー(株)  
 東洋精機工業(株)  
 豊田工機(株)  
 (株) ナガセインテグレックス  
 中村留精密工業(株)  
 (株) 日 研 工 作 所  
 (株) 日 平 ト ヤ マ  
 野村精機(株)  
 浜井産業(株)  
 日立ツール(株)  
 ファナック(株)  
 富士機械製造(株)  
 ブラザー販売(株)  
 豊和工業(株)  
 牧野フライス精機(株)  
 (株) 牧野フライス製作所  
 (株) 松浦機械製作所  
 三井精機工業(株)  
 (株) ミ ッ ト ヨ  
 三菱重工業(株)  
 三菱電機(株)  
 三菱マテリアルツールズ(株)  
 (株) ミ ヤ ノ  
 メルダシステムエンジニアリング(株)  
 (株) 森精機製作所  
 安田工業(株)  
 ヤマザキマザック(株)

### [ リース業(18社) ]

共友リース(株)  
 近畿総合リース(株)  
 興銀リース(株)  
 首都圏リース(株)  
 昭和リース(株)  
 GEキャピタルリーシング(株)  
 住商リース(株)  
 ダイヤモンドリース(株)  
 東京リース(株)  
 東銀リース(株)  
 東芝ファイナンス(株)  
 日本機械リース販売(株)  
 日立キャピタル(株)  
 (株) 芙蓉リース販売  
 三井住友銀リース(株)  
 三井リース事業(株)  
 三菱電機クレジット(株)  
 UFJセントラルリース(株)